

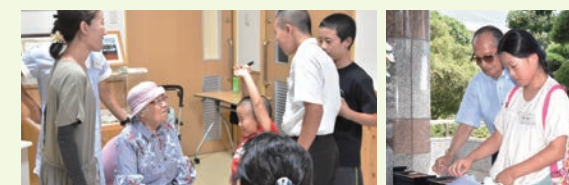
誇りを胸に 伝統を 受け継ぐ

CONTENTS / 目次

広報かのや No.328 September 2019

- 04 特集
「隔たりのない社会へ」
～ハンセン病問題を理解する～
- 10 温故写真／カノヤタイムトラベル
- 11 夢のかけはし「大窪 翔太郎 さん」
- 12 みんなの Hot News
- 14 MV-22 オスプレイ地上展示
- 15 公共施設の使用料が変わります
- 16 タイ王国男子バレーボールナショナル
チームがキャンプを実施／
国際交流員紹介
- 18 知って役立つ情報掲示板
- 22 すこやか直幸便／
休日救急当番医・歯科休日急患在宅医
- 23 輝け！ジューダイ／おしごとの時間
- 24 市民のひろば
- 25 ココ de チャレンジ！
- 26 カノスポ
- 28 プレゼント・映画情報

今月のカバー



交流の握手が心を通わす

今号の特集テーマは、ハンセン病問題。今から84年前に開所した国立療養所星塚敬愛園には、116人の入所者が暮らしています(8月1日現在)。表紙は、敬愛園を訪れた子どもと入所者との、和気あいあいと交流した後に自然と交わした握手です。交流による握手が、差別と偏見をなくしていくことを信じて。



高須町刀舞伝承保存会

高須町にある波之上神社で毎年8月の第1日曜日に行われる「祇園祭」は、夏の一大行事。祭りで奉納される伝統芸能の「刀舞」は5つの舞（長刀舞、刀舞、弓舞、田の神舞、鬼神舞）の総称であり、五穀豊穡、悪疫退散、子どもの健やかな成長と町の活性化を願い、明治の末から約120年間行われています。平成13年には市の「無形民俗文化財」に指定されました。平成8年に結成された「高須町刀舞伝承保存会」では、地域の貴重な伝統行事を後世に受け継いでいくための取り組みを続けています。会長の山下健美さんは「地域の方々の協力をもらいながら、『刀舞』を守り続けたい」と力を込めて語りました。



舞の基本を教わる子どもたち。刀舞は地域の人々に代々受け継がれています。